

# 第31回

## うつのみやこども賞だより

平成26年度 3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ネネとヨヨの

もしもの魔法』

白倉由美／著（徳間書店）

～読んだ本の感想より～



- 他の人の夢の中に入れるという夢のような魔法を使えるのがいいと思った。
- 想像「もしも」を使ってぼうけんをしていくのがよかった。ネネの想像力から物語がどんどん展開していく所がよかった。
- 「想像」が禁止の世界があったら、生きていける子供はすくないと思いました。
- 失われたものを探すため、旅立つことをきめたネネがかっこよかった。
- 最初に語っていたのがカエルでおどろきました。
- 私もくもしもの魔法のノートをほしいと思った。

『石の神』

田中彩子／著（福音館書店）

- 捨吉が小門の先生からにげた時の気持ちが分かって、おもわず泣きたくなりました。
- 石をとおしてかわり合う2人がおもしろかったです。
- 2つのものがたりがつながってくるのがいい。
- あれちの男たちのところに帰らずに、なぜ石屋に行ったのか気になって続きが読みたくなりました。
- かんじろうと申吉がおたがいに高め合っていく所も、よかった。

『クリオネのしっぽ』

長崎夏海／著（講談社）

- クラスの仲間とあまり仲の良くない三人の関係が縮まっていくのが良かったです。
- 一部にこわい話や言葉などがあつたけどクリオネのしっぽの話の所はおもしろかったです。
- 事件の後と前でゆいちゃんが態度を変えなくてよかったと思いました。
- 主人公のこは、お母さんに何もすることができないと言ったが、いろんな事ができていて、いい子だなと思った。

『なないろレインボウ』

宮下恵菜／著（ポプラ社）

- いろはと七海にとっても共感できました。自分の気持ちを話すのはとてもむずかしいんだなと思いました。
- 親友だからこそ、いろいろな困難があるんだなと思った。
- ひみつをかくしているというところがおもしろくありませんでした。
- ななみといろはがどちらとも長所に気付けて良かったです。
- 七海といろはのゆう情にとってもかんどうしました。ゆう情1番だと思った。
- ニジでつながっている友だちってステキだな！私は友だちと何でつながっているのかなと思いました。